

女川原子力発電所 定期検査・主要機器点検情報

No. 2

(平成18年4月分)

号機	1号機		定期検査	第17回定期検査			
件名	復水浄化系配管の減肉について						
月日	平成18年3月3日(金)			発生	発見	確認	
場所	タービン建屋	設備	復水浄化系	設備区分	それ以外の系統		
設備概要	復水浄化系は、復水脱塩装置および復水ろ過脱塩装置で構成されており原子炉へ供給される水を浄化する目的で設置されています。						
所見	2月13日から5月10日にかけて、配管肉厚測定検査における超音波厚さ測定を実施しました(計237箇所)。 - 点検の結果、復水脱塩装置樹脂ストレーナ(E)出口配管において、今定検中に取替えが必要と判定された減肉箇所が1箇所確認されました(3月3日)。 - 水平展開として、同形状のラインである復水脱塩装置樹脂ストレーナ(A)～(D)および(F)出口配管(計5箇所)を測定した結果、(A)(B)(D)で今定検中に取替えが必要と判定された減肉箇所が3箇所確認されました(4月6日)。 測定結果は以下のとおりです。						
		公称肉厚 (mm)	必要最小肉厚 (mm)	測定最小肉厚 (mm)	減肉率 (mm/hr)	余寿命 (年)	備考
	A	9.3	4.99	8.1	4.5×10^{-4}	0.79	今定検中取替
	B	9.3	4.99	6.4	2.7×10^{-4}	0.61	今定検中取替
	C	9.3	4.99	7.2	1.6×10^{-4}	1.5	今定検中取替
	D	9.3	4.99	7.6	2.9×10^{-4}	1.0	今定検中取替
	E	9.3	4.99	6.6	2.7×10^{-4}	0.69	今定検中取替
	F	9.3	4.99	6.5	1.4×10^{-4}	1.3	今定検中取替
	- 当該部位は、これまでの定期検査で減肉が確認されていた部位であり、計画的に肉厚調査を実施していました。 - 減肉が確認された(A)(B)(D)(E)の配管については、新管に取替えるとともに、予防保全の観点から(C)(F)の配管についても取替えを行います。						

